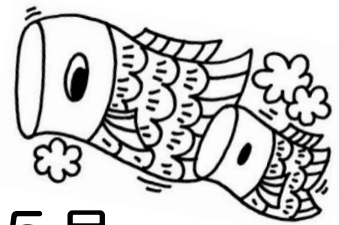




きたおおじ保育園



# 2024年度 園だより 5月



## <いっぱい泣いた>

4月のきたおおじ保育園はと～っても賑やかでした。  
 楽しい笑い声？いえいえ、新しい仲間たちの大きな泣き声が響き渡っておりました！  
 ママやパパと別れる時はもちろん大きな声で泣きます。もうすぐママは行ってしまいます。  
 それが分かってくると、保育園に着くなり「びえ～ん！！」と泣き出すお利口さんも。  
 あんなに泣いている我が子を置いて行くんだから、それはもう辛かったでしょう。不安  
 だったでしょう。心配だったでしょう。それでもこの保育園の事を信用して下さい、  
 後戻りすることなく、しっかりバイバイして下さい本当にありがとうございました。

## <喜ぶべき事>



みなさまのご協力のおかげで、子どもたちは順調に慣れていって、涙が止まる時間が  
 ドンドン短くなって、給食もモリモリ食べてくれて、お昼寝もぐっすり眠ってくれて、  
 今では溶けるような笑顔も見せてくれています。ほんと、可愛すぎですよ～！

それにしても、毎朝あんなに泣かれては、パパもママも保育園に向かう足取りが重た  
 かった事でしょう。でも、それは喜ぶべき事なんですよ。

## <大好きだから>



パパやママと離れるのが悲しい！ってことは、裏を返せば？ 大好き！って事でしょ？  
 大好きだから離れたくない！大好きだから一緒にいたい！大好きだから行かないで～！  
 これは親子の愛着関係がしっかり出来ている証拠。なので、おめでとうございます！  
 今までの育児、最高でしたね！素晴らしいです！！だから安心してくださいね♡

## <ダンゴムシ探しに夢中>



さてさて、そんな中、後輩が出来た2歳児さんたちは、いまダンゴムシ探しに夢中。  
 「お散歩いこ～！」が「ダンゴムシいこ～！」になるくらいハマっています。ちかくの  
 神社に着くと、小さなバケツとスコップもって、神社の隅をほじくっては「いた～！」  
 と叫んでいます。毎日、毎日、神社さんぽ。毎日、毎日、ダンゴムシ探し。

## <公園にも行きたい！>



そんなある日、「公園行きたいなあ～」と呟く仲間が。さすがに毎日ダンゴムシ探し  
 じゃ飽きてきたのかな？ってくらいダンゴムシ探していましたからね。そこで「今日は  
 公園行こっか！」と声をかけると、「やった～！」「すべり台しよ～！」目を輝かせて  
 飛び跳ねる仲間たち。見ているこっちまで嬉しくなります。

## <ブームはいつまで続くのか？>



公園で嬉しそうにすべり台を滑る仲間たち。砂場では小さな仲間たちが遊んでいます。  
 そこへ1人の仲間が駆けてきて、「バケツ貸してなあ！」と言って去っていきました。  
 そしてまた別の仲間が「貸して～」とスコップを持って去っていきました。次々と仲間  
 は砂場を訪れ、そして砂場にはバケツもスコップもありません。すべり台にはもう誰も  
 子どもがおりません。子どもたちはいったいどこへ行ってしまったのでしょうか？  
 そうです、やっぱり公園の隅をほじくっては「いた～！」と叫んでいるのですよ。



主任保育士 糸井恵太

